

九条の会

2008・1・11

第101号

101-0065 東京都千代田区
西神田 2-5-7 神田中央ビル 303
TEL 03-3221-5075
FAX 03-3221-5076

各分野の持ち味や特性にあわせて活動

「女性の会」が各地で奮闘

【青森】 「九条を守る青森市女性の会」は12月15日、「結成3周年の集い」を開き、42人が参加しました。呼びかけ人の澤田温子さんが、分野の会が地域の会結成にも力を発揮することよびかけました。また、津軽九条の会の佐々木憲一事務局長が「津軽弁で憲法と暮らしを語る」と題して講演しました。

「集い」では、この一年の活動をふりかえるとともに、行動参加者を増やし、市民との対話を広げるなど、今後の運動の方向を確認しました。会場には、街頭署名で寄せられた「街の声」や写真、「アイラブユー憲法ニュース」、絵手紙、全国各地の憲法ニュースなどが展示されました。

【広島】 「女性9条の会・ひろしま」は12月9日、毎月おこなっている「9の日行動」をおこない、「戦争はいやです」と書いた横断幕をかかげ、「日本を戦争する国にしたいのですか？」というチラシを配りながら、署名をよびかけました。

参加した15人の会員がつぎつぎとマイク

九条の会講演会

——小田実さんの志を受けついで

◇日時 3月8日(土) 13時30分
(開場 12時00分)

◇会場 渋谷 C.C.Lemon ホール

◇お話 井上ひさし、大江健三郎(他のよびかけ人は未定。なお小田さんのお連れあいの玄順恵さんも参加)

◇前売り券1000円(当日券は1200円)

※郵便振替で入場料をご送金いただければ、折り返し参加券をお送りします(発送は2月1日以降)。当日の入場は前売り券優先の先着順です。振替の通信欄に「講演会入場券〇枚希望」とお書きください。

郵便振替口座 口座名 九条の会
口座番号 00180-9-611526

をにぎって訴えましたが、それを聞いて、いったん通り過ぎた30代の女性が戻ってきて署名し、3000円のカンパをする場面もありました。

【福岡】 「福岡女性九条の会」は12月2日、「九条の会」呼びかけ人の澤地久枝さんを講師に第3回目の講演会を開き550人

が参加しました。

澤地さんは「小さな人間のこと」と題して講演し、「九条の会」に参加したいきさつにふれ、「未来の子どもたちのために、いい明日を用意したいから九条を守ろうと思っています」と語りかけるとともに、亡くなった小田実さんの「小さな人間が動かなければ政治はかわらない」という言葉を紹介しました。

戦争体験聞き9条の大切さ実感

【九条の会・北大】 「九条の会・北大」学生部の学生・院生の実行委員会が主催し、12月3日、元米海兵隊員・アレン・ネルソンさんの講演会が開かれ、階段教室を埋め尽くし立ち見も出る230人が参加しました。

実行委員の1人がネルソンさんのベトナム戦争の体験談を聞いたのがきっかけで、「北大に呼べないだろうか」ということとなり、「九条の会」学生部が乗り出しました。しかし目標をたてる論議になると、「北大で学生100人集めるなんて無理。そんなに来たら革命がおこる」との声も。

キャンパスには、講演会を知らせる大型たて看板8枚、ミニ看板30枚、ポスターは無数に張り巡らされました。1週間前からは学生食堂の前で昼休み宣伝もしました。自分の身近な友達には直接参加のよびかけをおこない、当日までに90人が参加を約束しました。

当日は開演30分前から学生がつめかけ、実行委員のあいだから驚きの声があがりました。ネルソンさんの「みなさんの表情、個性の豊かさは戦争を体験していないから」などの話に学生たちはうなずいたりして熱心に聞き入りました。

全国交流集会報告集が完成

九条の会第2回全国交流集会の報告集が完成しました。積極的にご活用ください。(B5判88頁)

【内容】

<全体会>よびかけ人あいさつ／奥平康弘、加藤周一、澤地久枝、鶴見俊輔、大江健三郎 各地・各界からの報告／沖縄＝はえばる九条の会、宮城＝岩沼九条の会（仮称）準備会、青年＝九条の会東大Komaba、東京＝九条の会・こがねい、大阪＝九条の会・豊中

<分散会・分科会>各地・各界からの140の報告を分散会・分科会ごとに収録

【取り扱い】 1部800円（送料別）。第1回報告集（定価1000円）とセットでお求めになれば、2冊併せて1300円いたします。（発送は1月22日以降）

参加した学生からは、「戦争はダメなんだと、本当の戦争の悲惨さを知っている人の話を聞いてよかった」、「世界から見た九条の大事さに気付きました」などの感想が寄せられました。

落語で健康や医療政策を語る

【医療生協九条の会】 福島県いわき市の「浜どおり医療生協九条の会」は11月18日、設立2周年のつどいを開きました。よびものは、芝病院名誉院長の「あなたも100まで生きられる」と題した「健康落語」

羽織・袴で登壇した稲垣氏は健康で過ごすための労働のあり方や食事から話、医学は病気に対応できるが、「政治ではできない」として高齢者医療制度の転換を落語仕立てで訴えました。